

情勢報告（平成28年7月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

環境制御技術導入に向け環境測定機器の説明会を開催



環境測定器を選定中

6月27日、当所管内で環境制御技術導入を検討しているニラやトマト生産者7名が参加し、環境測定機器メーカー3社の説明会を開催しました。管内では実ほ場での情報が少ないことから、測定機器や制御機器などの操作性や測定項目について、質疑応答を行いながら、それぞれが希望する機器を選定しました。

また、7月8日にはニラの電照栽培導入希望農家を対象に、勉強会を開催し6名が参加しました。他産地や実証農家での設置方法、照度調査結果をもとに、LED球の種類や必要個数を検討しました。

普及所ではJAと連携して、各ほ場で機器の設置方法を検討するとともに、事業申請の支援をしていきます。

佐川町加茂地区で集落営農の組織化に向けた話し合いを実施



“加茂地区環境を守る会”
総会

6月30日、佐川町加茂地区で多面的機能集落協定を結んでいる“加茂地区環境を守る会”が総会を開催し、引き続き加茂集落の農業生産基盤維持に向けた活動を行っていくことになりました。

普及所では、役場と共同で実施した地区での集落営農導入についてのアンケート結果を基に、今後の推進方向について、話し合ってもらいました。その結果、『今後の高齢化や労力不足解消のため、結成に向けて話し合う』ことや『集落活動センターの重要部門として位置付けたい』といった意見が出されました。

普及所では今後も農業生産基盤・集落維持のため、話し合いの場づくりや情報提供など、地域活動を支援していきます。

「全国農業担い手サミットinこうち」高吾地域実行委員会幹事会を開催



計画案を検討中

7月19日、6月20日設立の高吾地域実行委員会協議を受けて、地域交流会の内容について幹事14名と協議しました。

計画案として関係機関で検討した宿泊先や研修内容について、実行委員でもある各町村の農家代表から、「テーマに合ったものにする必要がある!」「視察コース案は下見しないといけない!」などの提案がありました。

普及所では、事務局として関係機関の協力も得ながら、本年度のサミット岐阜大会開催時期までに地域交流会の内容について検討・調整ができるよう支援していきます。

促成トマト生産者の個別カウンセリングを実施



経営状況とそれぞれの
課題を把握

普及所では6月中旬から7月中旬にかけ、J Aコスモス促成トマト生産者14戸を対象に個別カウンセリングを実施しました。

J Aを含めた三者で前作での栽培上の課題と改善点を共有し、8月から始まる次作での具体的な取り組み内容や目標販売額、所得目標を確認しました。

普及所では、生産者の目標達成に向けて、定植前後から年内の栽培指導を中心に、それぞれの課題に応じた個別支援を行っていきます。

仁淀川地区農漁村女性グループ研究会総会および研修会



石垣ハウスを見学中

6月23日に仁淀川地区農漁村女性グループ研究会総会および研修会が仁淀川町仁淀地区で行われました。

総会では、今年度の研修内容や芋煮会の開催方法などについて協議しました。また、研修では仁淀地区での住民の取り組み事例として、27年度に整備された石垣ハウスや東屋、製粉所の見学を行いました。石垣ハウスは、鳥獣対策としても有効とのことで、暑さ対策などの質問がありました。

普及所は、研修内容の提案や総会および研修会の開催支援を行いました。今後、研究会活動として10月頃に開催予定の芋煮会および伝承料理講習会の開催を支援していきます。